

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2017.7
Vol. 57

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信 Vol.57

●平成29年7月発行

●編集・発行／総合東京病院

〒165-0022 東京都中野区江古田3-15-2

TEL. 03-3387-5421(代)

特集

見た目を改善する美容医療 プチ整形から乳房再建まで



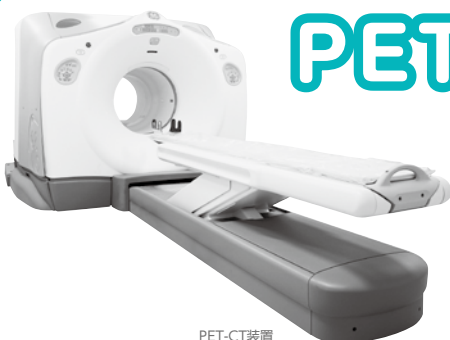
形成外科・美容外科
保阪 善昭

見た目が大事とは良く言われますが、見た目とは顔や体の容姿、外見だけでなく、顔の肌のツヤや張り、また歩く姿勢なども含まれた言葉として使われます。人は誰でも周囲からいつまでも若々しいと言われたいものですが、それにはやはり多少なりとも努力が必要です。どんなに若く素敵な人でも身だしなみに構わず元気がない人は見た目が良いとは言えません。また自分に対する自信も必要で周囲とのコミュニケーションも大事です。

最近流行りのプチ整形のようにあまり大がかりな手術ではなくちょっと手を加える程度の施術や手術によって、

気になる部分を改善しそれによって人生を楽しむ人々が増えてきました。

年と共に誰でも皮膚にシミ(色素斑)や小さなイボができたり、また皮膚のシワやたるみが目だってきて気になるものです。顔はもともと個人を識別するために存在すると考えられており、人に会った時にまず第一に相手の顔を見ますが第一印象もそこから生まれます。その顔に加齢による黒く目立つ色素斑が少しずつ増えてくると、誰しも気になりますし、時には外出が億劫になる人もいます。また若い人でも顔のどこかに元々コンプレックスがあると他人がいつもそこを見ているような気がして精神的に落ち込む人もいます。顔がすべてではないことは誰しも理解できますが、なかなかそうは思えずいつまでもコンプレックスから脱却出来ない方も多いと思います。直せるものなら直したいと思う気持ちは理解できます



PET-CT装置

PET-CTがんドック予約受付中

「PET-CTがんドック」 ※総合東京病院の来院申込者

通常料金 108,000円 → 優待料金 86,400円(税込)

※「脳検査」を追加の場合は、108,000円(税込)になります。

詳しくは、予防医学課へ

☎03-3387-5462 受付時間/月～土(日・祝除く)
AM 9:00 ~ PM 5:00

特集 見た目を改善する美容医療 ～プチ整形から乳房再建まで～

し、直すことによってより積極的な楽しい人生を送ればそれに越したことはないと思います。

加齢による黒いシミや隆起した色素斑は電気メスやレーザー機器を用いて簡単に取り除くことができます。しかし取れたからといってすぐに日光にあててしまうと再発してしまいます。また中には皮膚癌のような物もありますので一度は専門家の診断が必要です。

プチ整形としてはまず注入療法が挙げられます。おでこや法令線のシワはヒアルロン酸を注入することによって陥凹した部分を隆起させかなり改善できます。またボトックスと言う細菌の出す毒素を合成して作ったものがありますが、これを注入して筋肉を麻痺させシワを作らないようにすることもできます（しかしたるみが深いものになりますとやはり従来通りの弛んだ皮膚を切りとる方法が用いられます）。またヒアルロン酸を目もとに注入して若々しく見せることもあります。最近ではヒアルロン酸もいろいろな種類の物が開発され、比較的吸収されにくいヒアルロン酸を、鼻の付け根や先端に注入して、ちょっとだけ高くする方法も使われます。ヒアルロン酸の注入は手軽な方法ですが、気をつけて行わないと皮膚の壊死のような重大な合併症を引き起こすこともありますので施術者には注意が必要です。目に関しては以前からある方法ですが細い糸で皮膚を止めるだけで二重を作る方法もプチ整形に入ります。この方法はあくまでも仮止めの感覚で将来また二重の幅が狭くなったり無くなったりする可能性があることを十分理解して受けるよう

にして下さい。同じ一重でも切れ長の綺麗な一重のタイプと、重たく暗いイメージの一重の人がいますが、後者の場合は手術をして目もとを明るくした方が人生を楽しく送れると思います。ちょっと顔が痩せて貧相に見える場合には比較的手軽に脂肪注入と言う方法を用いて頬をふっくらさせることもできますが、時間と共に吸収されることがありますので追加注入が必要になります。プチ整形には自ずと限界があり、それを越えた場合はやはり適切な手術が必要となります。目も鼻もシワとり手術も輪郭形成も現在は安全に行うことができますが、それなりに時間も費用もかかります。

また最近の美容医療機器としては、太った人に対する吸引冷却法を用いた痩身の器械や超音波を使ったわきがや多汗症の治療器なども開発され、従来法に近い結果を得られるようになってきました。

さらに乳癌で乳房を失った方にはいろいろな方法で乳房を再建することができます。最近ではシリコン製の人工プロテーゼを挿入するやり方が主流を占めていますが、皮膚の状態が悪かったり病気の症状に依じて様々な術式が選択できます。時には大きすぎる乳房を小さくする手術もありますが、これには健康保険は適用されません。

一般に美容外科手術には健康保険は適用できませんが、乳房再建については保険適用が認められています。

いろいろ気になる方はまず形成外科・美容外科を受診して良く相談して下さい。